



第27号

発行：長野県弓道連盟  
会長 山川茂樹  
〒396-0025  
伊那市荒井3919-3  
TEL0265(72)3060  
編集：県弓連広報部  
印刷：中央堂印刷社

# 正射を求めて

## — 和楽の裡に射道精神 —

長野県弓道連盟副会長 宮下重敬

弓矢を手にして四十九年、そして故山内成豊先生に師事し善光寺弓道場にお世話になって三十五年になる。弓道場の脇正面には、「礼記射義」、「射法訓」とともに故林亮天先生の「弓道要訣」が掲げられている。

正しい息合いにて正しく一致させ、丹田の力を中心として強化充実の末に発射する「行射を謂う」と述べている。また、控室には先生が昭和五十七年に記した「道場訓」が掲げられている。

先生は、射の理想は所謂「正射」の二字に尽きる。弓道の修行は正に「正しさ」の追求にあるとし、その実現の

一。射道修練以って心身の養正を期すること。

為の要訣を「正技(真)、正心(善)、正和(美)、正強(心身強化)、正気(息合い)」の五項目に分けて述べ、息合いの正しい運行のもとに射法八節を解説している。

一。会員は互いに礼を厚くし、和を重んじ、正を求め、「和楽の裡に」射道に精進すること。

そして正射を一言で云えば「正しく用意された体型に正しい心が順応し、

蓋し、正和こそ射自体の目標なり。



一。会員互いに正和の心を以て相接し、且つ共に相扶け合つて射道の向上を計ること。

長野弓道会創立以来、会員はこれらを守り、射道修練に励んできた。また論語に「君子は和して同ぜず、小人は同じて和せず」とあるが、稽古に際しては、徒に妥協するのではなく、正射を求めて互いに切磋琢磨することを大切にしている。

十八年度から三回北信越地区地連幹部指導者講習会へ参加する機会を与えられた。上越市弓道場、小松市弓道場、富山県弓道場、それぞれ主任講師の岡崎廣志範士、石川武夫範士、山川茂樹範士はじめ諸先生方の指導をいただいた。心に残る幾つかの教えを記す。

射技と体配は一体である。車の両輪ではなく基本動作の上射が成り立つ一つひとつの動作の意味を知り基本動作をしっかり身につけることよって射が生きてくる。弓道は真善

美の追求・具現にあり、射礼の稽古が大切である。

弓道上達の秘訣は基本に忠実であることであり、弓道の基本は三重十文字にある。足踏みは、三重十文字を構成する第一歩である。

「ねらい」には、肉眼、心眼、体眼がある。心眼は分かり難いが、体が正しく組み立てられれば、矢は自然に的につく、体眼である。的は弓の藤に映っているが、肉眼でねらうと力が止まる。体眼を信じてどこまでも伸合つ。

矢筋に大離れる現代射法。両肩は平に会まで左右対称、縦伸び、球体の中で弓を引くイメージで引分ける。妻手の肘は後ろに回さない。肩甲骨を平らにし、広背筋を弛ませない。

よき人間関係をつくる。弓道では段位で序列をつけるが、人間関係では、年齢の差、弓歴の差も考えることが大切だ。長幼の序、年長者を敬うことは日本人の心。また、年少者でも弓歴のある人には弓道の先輩として敬意を払うのが当然であろう。これらを調和させることが肝要である。

自分の未熟さと稽古不足を恥じ、改めて初心に帰り、和楽の裡に正射を求めて精進したい。

# 成年男子総合一位 少年男子総合二位 本国体出場権獲得



国体への出場権が与えられます。

成年男子は1日目の遠的  
で2位でしたが、2日目得  
意の近的で1位となり総合  
トップで本国体出場を決め  
ました。

少年男子は1日目の遠的  
1位が効き、2日目の近的  
は5位でしたが総合2位で  
出場権を獲得しました。

成年女子は近的2位と健  
闘しましたが、遠的の4位  
が響き総合4位の成績でし  
た。

少年女子は近的1位と大  
活躍でしたが、遠的5位のため総合3  
位の成績でした。

第29回北信越国体が8月23日～24日  
新潟市新潟地域学園弓道場(新潟国体  
会場)で開催された。

成年男子は今年からブロック予選が  
設けられ総合成績で第3位まで、成年  
女子、少年男女は総合第2位までが本

成年男子・少年男子の本国体での活

躍を期待し、残念ながらあと一步の成  
年女子・少年女子の選手のみなさんの

ご苦労に大きな拍手をおくります。

8月23日～24日/新潟県新潟市

### 〔遠的〕 36射

少年男子 長野県181点(安藤直貴  
53点・斉藤秀和54点・宮島凌74点)

新潟県175点 石川県150点

少年女子 富山県114点 新潟県

109点 福井県99点 長野県82点

(澤田茜25点・西村柚実里44点・岩岡  
恵13点)

成年男子 新潟県200点 長野県

188点(志村仁75点・中村宏45点・亀岡  
英司68点) 富山県175点

成年女子 新潟県170点 富山県

145点 石川県139点 長野県113点  
(栗林薫48点・戸田裕子31点・高山寿  
恵34点)

### 〔近的〕 36射

少年男子 富山県30点 石川県

27点 新潟県26点 長野県20点  
(安藤直貴3点・斉藤秀和6点・宮島  
凌11点)

少年女子 長野県24点(澤田茜4  
点)

中・西村柚実里10中・岩岡恵10中)

新潟県23点 石川県22点 富山

県22中 福井県22中

成年男子 長野県27中(志村仁10  
中・中村宏11中・亀岡英司6中)

石川県27中 富山県25中 新潟県

25中 福井県25中

成年女子 福井県27中 長野県  
26中(栗林薫10中・戸田裕子6中・高  
山寿恵10中) 富山県25中

### 〔総合成績〕

少年男子 富山県7点 長野県7点 石川

県7点 新潟県7点 福井県4点

少年女子 富山県9点 新潟県8点 長野

県7点 福井県4点 石川県4点

成年男子 長野県10点 新潟県8点 石川

県5点 福井県5点 富山県2点

成年女子 新潟県8点 福井県7点 富山

県7点 長野県6点 石川県4点

## 第63回国民体育大会 秋季大会

10月4日～7日 大分県佐伯市

### 〔出場県〕

少年男子 富山県 長野県

少年女子 富山県 新潟県

成年男子 長野県 新潟県

成年女子 新潟県 福井県

# 大分国体に向けて

成年男子 中村 宏

(諏訪支部)

八月末、新潟県新潟市で北信越国体が行われました。今年から成年男子も予選選抜が始まり、上位三県だけが本国体へ行ける事になりました。昨年の

ブレ大会の結果を踏まえ、遠的に重点を置き、強化部の先生方の下、練習してきました。得点も昨年度より平均値が上がりました。自信を持って臨んだのですが、練習日・試合当日共に強風が吹き、思うように点数を伸ばすことが出来ませんでした。試合後私の射について、「狙いにはかり気を取られ縮こまった勢いの無い射だった」とのご指摘を受け、平常心を欠いた状態で出てしまった自分を深く反省しました。遠的にはチームメイトに助けられ、なんとか二位につけることができました。

試合二日目の近的は、天候はあまり良くありませんでしたが、風は収まっています。前日失敗してしまった反省を活かし、きちんと気持ちを集中し、落ち着いて臨みました。今回、成年男子は三立ちとも大きな差がつかず、最

後まで結果が予測できない状況でした。最後の立ちが終わった時点で、長野と石川が同中でトップ、残り三県も同中で全県が射詰めからむ混戦となりました。そして、射詰め一回目で石川を下し、近的一位を勝ち取ることができ、総合成績も一位で予選を突破する事ができました。

今回は反省すべき点が多くありましたが、それにより得られた事もあり、自分にとってプラスになる大会でした。また、たくさんの方々からご指導ご声援をいただき、とてもありがたく感じています。その思いに答えられるよう、本国体に向け努力していきたいと思えます。



(志村・中村・亀岡)選手

# 大分国体に向けて

少年男子 斉藤 秀和

(岩村田高校)

8月23日・24日と新潟で行われた北信越国体。1日目は突風、2日目は雨と決していいとは言えないコンディションでした。

突風の中の遠的はとても大変で、思ったとおり矢が飛ばず、1回戦はポロボロの結果でした。しかし、北信越を勝ち抜く為に遠的は絶対に落とすことが出来ないのです。2回戦・3回戦としてつかり立て直し、なんとか1位を取れました。

遠的で1位が取れたので、気持的には落ち着いていられたと思いますが、逆にそれが油断となってしまうのか近的では前日同様にスタートが悪く、まさかの5位となってしまいました。この結果にみんなが本国体出場をあきらめかけていました。しかし、大きな順位変動により、幸運なことにも総合2位で本国体出場が出来ることになりました。

本国体までの残された時間、北信越で味わった雪辱、また同じ点だったの

に惜しくも通過出来なかった女子3人の思いを胸に、それぞれの課題を改善し、特に監督の山浦をはじめ他の先生方にも指摘された、全員の課題であるメンタル的な面も克服し、同時にチームワークも深めていきたいと思えます。

例えばこの3人がこうやってチームを組めたのは、ある意味奇跡なのかも知れません。チームを組んで約3ヶ月、まだまだついていくところもあるけれど本国体では全員がベストを尽くし、遠的・近的両方で優勝してこれるよう頑張ります。

応援よろしくお願いします!



(宮島・斉藤・安藤)選手 山浦監督

### 支部対抗競技会並びに 国体及び全日本選手権 出場選手壮行会

9月7日/長野運動公園弓道場

近的競技(60射)

(団体)

諏訪支部 50中(志村仁・米山美奈  
・内山喜照・中村宏・市川隆光)

飯伊支部 38中(松枝敏広・高山寿  
恵・常盤三男・竹内美和・牧内和宏)

上伊那支部 36中(柴種徳・井口正  
弘・手塚信一郎・久保田智恵・中田  
真也)

(個人)

市川隆光 12中(諏訪)

志村仁 12中(諏訪)

松井幸彦 12中(安曇)

遠的競技(60射)

(団体)

飯伊支部 42中(松枝敏広・高山寿  
恵・常盤三男・竹内美和・牧内和宏)

上伊那支部 42中(小澤剛司・中田  
真也・下島俊明・笹岡達也・山岸稔員)

飯山支部 41中(大口晴男・石田真  
・清水和代・飯田秀樹・平野英孝)

(個人)

中村宏 12中(諏訪)

志村仁 12中(諏訪)

山岸稔員 12中(上伊那)

総合成績

優勝 飯伊支部

2位 諏訪支部

3位 上伊那支部



新調の総合優勝旗は飯伊支部へ

### 長野県弓道遠的選手権大会 第59回全日本弓道遠的 選手権大会長野県予選会

8月10日/県営飯田弓道場

夏の暑い太陽が遠的場を照りつける  
中、標記大会が行われました。

県弓連副会長の土川先生の矢渡しで  
大会の火蓋が切って落とされ、更に熱  
い選手の戦いが始まりまし

大会の出場選手は男子39名、女子21  
名計60名のエントリーでした。大会の  
的中率は男子44・8%、女子35・8%と  
レベルが低く、物足りなさが残りました。

最近、あちこちに遠的射場があり練  
習には事欠かないと思いますが、もう少  
し練習に時間を割いてほしいと思います。

試合中に気の付いたことは、入場時  
の礼・揖の仕方、対象方向がまちまち  
と目に付きました。また、元禄まわり  
の仕方、競技の間合いもきちんと守っ  
てほしいと思います。

(競技部長 大蔵 務)

男子の部

松枝 敏広(飯伊) 10中

井垣 貴夫(松本) 9中

中村 宏(諏訪) 8中

吉田 博行(松本) 8中

小椋 一二三(木曾) 8中

女子の部

米山 美奈(諏訪) 8中

清水 和代(飯山) 8中

米沢美智子(長野) 7中

竹内 美和(飯伊) 6中

中村 美穂(上伊那) 6中

全日本遠的選手権大会長野県代表

男子 松枝 敏広(飯伊)

井垣 貴夫(松本)

女子 清水 和代(飯山)

米沢美智子(長野)

全日本遠的選手権大会 東京中央道場  
10月24日~26日

### 全日本選手権 北信越ブロック予選会

7月27日/富山県射水市弓道場

決定戦は一手3回行い、的中制によ  
り上位3名を北信越ブロック代表とし  
て、全日本選手権大会に出場する。

男子ブロック代表

小林 憲二(新潟)

中條 大輔(石川)

米澤 栄一(福井)

女子ブロック代表

月輪 由紀子(福井)

山本 あけみ(福井)

五十嵐由美子(富山)

なお長野県代表として本大会に出場  
する選手は次のとおり。

男子 宮坂 博之(諏訪)

女子 関島美奈子(飯伊)

全日本選手権大会

男子 9月19日~21日

女子 9月21日~23日

東京 中央道場

# 鈴木全弓連会長を講師に 教士研修会開催

平成20年度教士研修会が、7月19日～20日新築された松本市弓道場に、全弓連会長範士九段鈴木三成先生を主任講師に、山川茂樹県弓連会長も加わり34名の受講生により、二日間の日程で実施された。

「一手指射の講評、審査合格の人は認められない」との厳しいお言葉から始まり、射技指導中心の研修会となりました。

鈴木会長の講義で、審査で失敗しないようにするには、体調を整える。何当たり、外れは二の次と考える。何かひとつ、これだけは気をつけての意識を持つ。完璧に引けることはない。完璧に仕上げると失敗する。信じる。完璧に仕上げると失敗する。七割位が良い。稽古より少し良い結果が出れば良い。残身(心)ですぐに弓倒しできないほど気力の充実があれば最高。

最後に「失敗は思い切って、堂々として、すればよい」と笑顔で締め括られました。

二日間、暑い中熱心にご指導いただきました。鈴木会長・山川会長に受講生一同心から感謝の研修会でした。



笑顔を交えての講義



鈴木会長の指導に真剣な眼差しの研修生

## 平成20年度北信越地連幹部講習会に参加して

教士七段 杉田 博

7月5日、6日の二日間富山市で平成20年度北信越地連幹部講習会が開かれ、北信越5県から合計27名、うち長野県からは7名が参加しました。

講師は山川茂樹範士(主任講師)石井勝之範士・近藤峯英範士の三先生。さらに全日本弓道連盟会長鈴木三成先生が、同日各地で開催された講習会のうち当地区を選んでの視察ということで、二日間ご臨席くださいました。

一日目、主任講師山川茂樹先生の矢渡しの後、受講者の一手指射に続き講師評がありました。基本動作ができていない、「三重十文字が崩れている」

「気合いが感じられない」「弓道への取り組み・心構えが甘い」……と厳しい数々のご指摘をいただき講習会がスタートしました。

以後二日間を通して射技指導、射礼研修、鈴木会長と山川先生の講話。又石井・近藤お二人の先生の一つの射礼講師の三先生がご自身で解説を加えながら何射も引かれるのを前後左右さまざまな角度から拝見し、さらには筋肉や骨の働きを直接手で触れて学ばせていただく等充実した日程でした。

二日目最後は仕上げの一手指射の予定でしたが「その域に達せず」ということで中止。最初から最後までさらればなしで、冷や汗と猛暑が重なり文字通り流れる汗をぬぐいながらの講習会でした。



細部にわたっての射技指導



やって見せての射技指導

平成20年度北信越地区

女子講習会に参加して

練士六段 久保田智恵

6月28日・29日の両日、福井県立武道館弓道場において、尾形 虹先生・尾田俊一先生・久保田史朗先生の三名の講師陣を迎え、今年度の女子講習会が開催されました。各地連から27名長野県から7名)の受講者が参加しました。両日とも北陸の梅雨真っ只中と呼ぶにふさわしい、湿度100%の大変蒸し暑い日でしたが、適度な緊張感の中で集中して講習を受けることができました。

初日、主任講師の尾形先生は指導者の心得として「良いところを伸ばすと悪いところが無くなっていく。悪いところを指摘するのではなく、良いところをとことん褒めることが大切」と話されました。この言葉どおり、今回の講習ではダメ出しは少なく、良いところを見つけて出しては「もっともっと頑張れ!」と励まされ続けたように思います。また、この二日間を通じひたすら一つの射礼、持ちの射礼を行いました。

射礼を行うなかで終始基本の大切さを強調されました。

私自身が今後の課題としていきたいと考えたのは「矢は常に床と平行」「足踏みは縦線を意識して上に伸び、足の指10本で床を掴む」「離れは丹田から生まれる。丹田で切る」等です。

今回初めて県外講習会に参加させていただきましたが、講習や懇親会などを通じ、各県の女性弓士の方々と親交を深めることができましたことも、大きな収穫のひとつとなりました。

審査合格者



- 信越連合審査 6月1日 新潟
- 五段の部 多田かほる(上小)
- 定期中央審査 7月11日 宮城
- 教士の部 土屋 義雄(中高)
- 小池 正夫(諏訪)
- 教員特別臨時審査 8月10日 宮崎
- 四段の部 丸山 恒治(安曇)
- 北信越臨時中央審査 9月14日 新潟
- 六段の部 米沢美智子(長野)
- 高木 涼子(上小)

私と弓道

上伊那支部 柴 種 徳(五段)

私が弓に興味を持ったのは、高校入学時に道場を見学し、漠然とした憧れを感じた時からでした。初めて弓を手にしたのは、四十歳の春、教室がある事を知り、即受講を決めた昭和六十二年五月



の事で、第一期生十一名余の一人でした。開講式に当時弓道部長の山川茂樹現県連会長の矢渡しがあり、その美しさに深い感銘を受けました。教室では、二ヶ月程基礎を習いましたが、全く未知の動作に戸惑うばかりで、言われた事の出来ない、手の掛る受講生をあきらめずに指導して頂きました。今でも注意して引かないと、当時の癖が出てしまいます。もっと早く弓に出合っていたら、と悔やみましたが、弓には弓道年令があ

って何才で始めても、弓を引いた年数での射があるから」と教えられ、自分の射をと、心掛け稽古しました。京都の大会では、一手皆中する事の厳しさを毎回味わっています。参加した時から、有段者の部で優勝したら錬士を受けます。」と、夢のような目標を公言して、審査からの逃げ道にもしていましたが、第五十五回大会で夢が夢でなくなりまして。この大会では、回りも気にならず、唯無心で射が出来決勝で初めて意識したのを覚えて

います。「継続は力なり。」夢を持ち続ける事で、自分を自分でない何か、表現する時があるのでしようか、日々の積み重ねが、何時か自分を何かに変えてくれるのでしょうか。弓ばかりでなく総て「射即人生」まさに、この言葉が教えてくれる事の意味を、感じているこの頃です。

### 仙台定期中央審査を終えて

教士六段 土屋 義雄

弓を初めて手にしたのは、中野市主催のスポーツ教室「初心者弓道教室」のことでした。そこで、故古澤博先生と出会い、「ご指導いただくこととなりました。それから、二十五年間、「弓道は中てるのではなく、正射を引くべく努力。正射を引き、無欲で続けること。結果は求めず、十文字の大きな射になるよう、毎日弓を引き続けられ、答えは必ずするはず。あせらず、休まず、目的に向かって邁進すること。」との先生の教えを念頭におき、毎日弓を引き続けてきたように思います。

今年七月の仙台定期中央審査当日は、不思議なほど心が落ち着いておりました。毎日の練習のつもりで、平常心で弓を引くことができました。

教士合格発表の帰り、共に合格しました諏訪支部の小池先生と乾杯したビールは、最高の忘れられない味となりました。

教士の称号を授与できましたことは、古澤先生を始めとする多くの先生方、弓士の方々との出会いと、ご指導のおかげであると、感謝しております。

「土屋君、教士は必ずとりなさい。そして、合格したら、自分のためではなく、人を育てるようにしなさい。」古澤先生の言葉が甦ります。

現在、中野弓道会において、新人会員の増員、又、会員の技術向上をめざして、微力ながら、会員と共に切磋琢磨しております。

今後、「射即人生」を肝にめいじて、無限の弓道の世界を少しでも極めるべく、自己との闘いともなる心身を修練し、日々精進してまいりたいと思えます。



### 仙台定期中央審査を終えて

教士六段 小池 正夫

七月の仙台定期中央審査は朝から雨降り。例年ごとく仙台審査は雨がつきものだが、控室から審査会場へ移動する時は雨はやんでいた。

第一控えに着席。上を見上げると天窓から陽が差し込んできた。気分爽快力まずに一次、二次審査と行射することができた。

二次審査終了後、控えて二人して待っていた所、審査の先生方から「体配をもう少し勉強するように」言われる。因むに論文課題は「射品射格の向上を図るためにどのような修練が必要か述べよ」であった。直々に鈴木三成全弓連会長から手渡された。

射品射格、体配とは息合いと間合いの調和であり、諸動作が流れるごとく一貫して、行射する姿に風格が生まれることである。正射必中を心がけた射の修練が必要であり、いわゆる射品射格の表れる射、見る人を引きつける射が必要とされる。大切なのは日々の修練の積み重ねだと言われる。

称号なり段位にふさわしい射の内容

を持ち、射の品位、格調が如何にして具現出来るか、教士は教士らしく、を修練の心構えとして実践していきたい。

師である浜祐先生には、審査終了翌日、病室へ御見舞いと、審査報告をする。しつかり両手で握手した後に、逆に先生に頑張れと励まされる。

終わりに、諸先輩先生の恩に報いるためにも、地元弓道協会はじめ長野県弓道連盟に少しでも貢献できるよう努めてまいりたいと思っております。



第5回全国中学生弓道大会  
長野県予選会

7月5日/塩尻市弓道場

女子団体(36射)

安曇野A9中(北林・野口・高山)

樽川A 8中(荻村・萱野・長谷川)

長野日大6中(山井・堀内・永江)

男子団体(36射)

長野日大8中(小杉・井出・堀内)

女子個人(12射)

山井彩乃6中(長野日大)

荻村萌子5中(樽川)

吉川優希5中(長野日大)

男子個人(12射)

遠藤融成5中(大岡)

小杉竜二5中(長野日大)

堀内竜太郎4中(長野日大)

第5回全国中学生弓道大会

8月16日・17日/全弓連中央道場

明治神宮至誠館

女子個人(8射)

山井彩乃(長野日大)3中(予選敗退)

男子個人(8射)

遠藤融成(大岡)1中(予選敗退)

女子団体(24射)

豊科南 5中(予選敗退)

男子団体(24射)  
長野日大11中(予選通過 決勝トーナメント)

男子決勝トーナメント1回戦

長野日大4中 4中六甲(兵庫)

(同中競射長野日大2中 0中六甲)

男子決勝トーナメント2回戦

長野日大6中 7中八代第一(熊本)

敗退

成績

男子団体

五位 長野日大中学校(小杉竜二・井出共栄・堀内竜太郎・荒井誠也)

第35回近県弓道大会

4月27日/長野運動公園弓道場

参加者 高校生404名

男子団体

須坂A(山崎・黒岩・町田・関・藤井)

長野西A(小林・中山・幅下・松沢・荒井)

長野B(鈴木・太田・市川・水内・下村)

女子団体

屋代A(宮入・堀越・瀬在・中島・滝沢)

長野日大C(沢田・佐藤・高橋・成田・滝沢)

長野吉田C(込山・山岸・高橋・小林・竹内)

弓仲間紹介

長野吉田高校弓道班

内山 紗希

私の所属している長野吉田高校弓道班は、一・二年生合わせて53人と、

他校の弓道部に比べて人数がとて

多いです。なので立ち回りはあまり

よくなく、巻藁で数少ない立ちを補

足するという状態です。

また、この大人

数をまとめて班活動を進めていくの

は容易なことでは

なく、先輩方が引退した今、先頭を

きって二年生の課題となつています。

弓道は、自分との闘いですが、実

力向上のためには、やはり仲間が必要

です。私の弓仲間たちは、みんな仲が

良くまるで家族のような温かい存在

です。また、練習熱心な人が多く、射癖

を



指摘し合い、互いに高め合うことができている。射癖を直すというのは決して簡単ではなく、辛いことが多いですが、仲間と練習することで、前向きに射癖直しに取り組めます。辛いときの仲間の存在というのはやはり大きいものです。

夏もだんだんと終わりに近づき、秋が訪れようとしています。そして多忙な大会シーズンにもいよいよ突入し始めました。これから様々な悩み不安がでてくると思います。ですが弓道の実力をより高め、精神力を強くしていくことで乗り越えるべきであると私は考えています。なので班員みんなで一杯の努力をして、大会で好成績を残せたらなと思います。人数が多くても絆

はとても深い長野吉田高校弓道班。これからの大会や練習も協力し合って頑張りたいです。

また、練習熱心な人が多く、射癖を

個人  
鈴木智昭(長野) 坂口(屋代)  
安藤(須坂東)

降旗正智

**第44回県下弓道伊那大会**

7月21日/伊那市武道館

参加者 256名

団体の部 トーナメントにより決定

信州大学B(渡辺・村・志賀)

岡谷工業A(岩波・森山・降旗)

伊那弥生ヶ丘男子A(宮下・伊藤・伊藤)

個人の部(8射)

**高校男子**

吉田典文8中(伊那北) 赤羽聡志

7中(下諏訪向陽) 島岡亨7中(飯

田風越) 岩波雅人7中(岡谷工業)

伊藤康輔6中(伊那弥生ヶ丘)

**高校女子**

木下未奈子6中(伊那西) 内城ひ

かり6中(伊那西) 宮澤奈美5中

(岡谷南) 降旗瑞稀5中(岡谷工業)

今井あゆ美5中(下諏訪向陽)

**一般**

山岸稔員7中(東伊那) 志賀裕之

7中(信州大学) 原深雪7中(諏訪)

中村宏7中(下諏訪) 日比貴桐7

中(信州大学)

富永義美

**第7回長野県弓道大会 in 長野**

7月21日/長野運動公園弓道場

参加者 120名

中学生個人

林貴徳(木曾) 遠藤融成(長野)

広瀬葉(佐久)

一般団体

木曾義伸(松原重雄・野田陽子・林

義泰) 上田城(高橋正弘・小林博正

・森山敏広) 千曲弓道会(米澤美智

子・久保田透・山崎まち子)

一般個人

森山敏広(上小) 高地美佐子(上

小) 米澤美智子(長野)

奥山 誠治

**第28回中央道沿線都市親善**

**スポーツ大会弓道競技会**

8月3日/県営飯田弓道場

高校男子個人の部

平澤一平(風越) 園原啓太(下農)

小木曾努(下農) 肥後喜之(阿智)

松本拓也(甲府工)

高校女子の部

小泉茜(甲府商) 金田絢子(風越)

倉田佳奈(弥生) 菅原ゆきの(恵

那南) 北村可蓮(風越)

一般の部

白河貴広(高森) 三石久子(かざ

こし) 永島永治(弦武館) 北原偉

平(豊丘) 細田将弘(弓魂)

団体の部

甲府工業A(松本・保坂・金子)

弦武館A(藤田・伊神・長島)

下伊那農B(林・園原・串原)

**第48回須坂大会**

8月23日/須坂市弓道場

参加者 高校生521名

高校男子の部

**団体**

24射

長野西C18中(中山・古澤・荒井)

篠ノ井D14中(小山・小林・数本)

長野西B13中(小林・田中・幅下)

**個人**

8射

倉田亮輔7中(長野) 藤本将太7

中(立志館) 荒井悟6中(長野西)

酒井佑弥6中(長野高専) 古澤竜

一6中(長野西)

**団体**

24射  
長野商業I13中(風間・廣田・南澤)

長野吉田D13中(酒井・大内・佐伯)

長野西B12中(吉谷・鈴木・玉木)

**個人**

8射

梅原萌花7中(長野日大) 大内真

理子6中(長野吉田) 南澤優衣6中

(長野商業) 高橋さつき6中(文大

長野) 滝澤あゆみ6中(長野)

参加者 一般34名

**一般の部**

8月24日/須坂市弓道場

尚弓会9中(松倉・外山・飯田)

かげろう8中(神津・民野・新津)

研究会7中(宮島・伊藤・佐藤)

**個人近的**

16射

新津一夫13中(かげろう) 小山謙

太郎13中(矢渡し) 神田裕司12中

(中電) 松倉志12中(尚友会) 林

英彦12中(中野土びな)

徳竹光春6中(中野土びな) 米沢

美智子5中(しかた) 永藤聡5中

(矢渡し) 大蔵務5中(とんぼ)

小山謙太郎5中(矢渡し)

永藤 聡



第54回大田市制記念県下弓道大会

8月24日/大田市運動公園弓道場  
参加者 132名

近的の部

一般団体(12射)

北高コモンズ7中(卯之原・中島・山田) 安曇7中(松井・渡辺・竹岡)

木曾義仲B7中(上田・野田・黒石)

一般個人(4射)

松井幸彦4中(安曇) 卯之原智也

3中(北高コモンズ) 林義泰3中

(木曾義仲) 黒岩実男(木曾義仲)

中島淳児3中(北高コモンズ)

高校団体(12射)

松商B8中(林・山田・原) 豊科

A7中(窪田・宮下・北村) 大町A

7中(高久・秋山・大日方)

高校個人(4射)

村上麻優4中(大町北) 山田愛紀

子4中(松商) 鈴木明日香3中(松商)

大沢侑香3中(豊科) 大日方

亮太3中(大町)

遠的の部

一般個人(4射)

西沢徹4中(大町) 窪田和恵3中

(混合) 吉野恒夫3中(混合) 松

井幸彦3中(安曇) 大島健裕3中

(木曾義仲)

高校個人(4射)

林宏信3中(松商) 町田志織3中

(松商) 西田瑞貴3中(大町) 原雪

彦3中(松商) 宮下貴志3中(豊科)

遠山 昌信

第23回北信地区高校大会

8月31日/長野運動公園弓道場

参加者 524名

男子団体の部(24射)

長野西C17中(中山・小林・荒井)

長野日大C15中(川端・北原・倉石)

須坂B14中(宮前・青木・黒岩)

女子団体の部(24射)

長野吉田D12中(酒井・大内・佐伯)

文大長野B12中(小林・竹田・高橋)

長野西B12中(竹内・田端・鈴木)

男子個人の部(8射)

中山太郎7中(長野西) 川端祐斗

7中(長野日大) 荒井悟6中(長野西)

矢嶋晋平6中(須坂) 八町慶

史6中(長野)

女子個人の部(8射)

中野実佳子7中(長野南) 高橋さ

つき6中(文大長野) 中澤佳恵6中

(長野東) 鈴木智恵6中(長野西)

村越美希5中(飯山) 小林義一

第50回塩尻市武道大会

9月14日/塩尻市弓道場  
参加者 235名

一般団体(12射)

長野寛成会 9中(宮島・伊藤・佐藤)

弓魂A 8中(細田・市川・笹岡)

中央大OB 7中(先納・岡田・征

矢)

高校団体(12射)

穂高商A 9中(奥田・甲斐・丸山)

深志B 9中(丸山・三澤・細川)

豊科C 8中(宮下・岡本・藤澤)

個人(12射)

秋山聖 9中(大町高) 滝澤祥子

9中(深志) 三澤公希 9中(深志)

征矢理啓 9中(中央大OB) 内

野貴文 9中(松弓会)

奥平 章夫



信州の夏は短いといひながら、残暑の厳しい日もありました。やはり朝晩の涼しさを感じる秋になったと感じられます。

先日「支部対抗競技会」が無事終了し、改めて行事予定を見ると、広報誌

が発行される頃には、国体が大分始まり、各地域の大会も残すところあとわずかになり、「祝射会」が終了すると、長野県の長い冬へと突入します。

冬の練習は、寒さや雪でなかなか進まない方が多いのではないのでしょうか。広報誌では、皆様ご覧になっていらっしゃると思いますが、巻頭に会長、副会長の弓道への心構えや思いを記していたっていました。

会長の話を始め、読むたびに本当にもっともつと修練を重ねなければならぬと感じました。

ぜひ今年の冬は、この巻頭部分をもう一度読み直していただき、冬の稽古の励みとしていただければと思います。広報部では、皆様に関心や興味をもつて読んでいただけるように努力しておりますが、やはり会員の皆様からの身近な話題や、頑張っている姿などの投稿が他地区の会員の皆様の励みとなると思います。

また、大会も結果だけでなく良い写真がありましたら、一緒にお送りいただければと思います。

広報誌は、会員の皆様のための情報誌ですので、ぜひ、ご投稿をお待ちしております。

清水 和代